



Treatment Action Group

プレスリリース

2014年10月31日

トリートメント・アクション・グループ  
日本国内連絡先: 福井昌子  
(兵庫県神戸市)  
電話番号: 090-5200-8717

**新しい抗結核薬を人々の手に！私たちは大塚製薬に懇願します**  
大塚製薬の新薬デラマニドは、患者のほんの一握りにしか渡っていません

【10月30日 バルセロナ(スペイン)発】10月28日から11月1日まで、スペインのバルセロナで「第45回肺の健康に関する世界会議」<sup>1</sup>(主催:国際結核・肺疾患対策連合<sup>2</sup>)が開催されています。この会議で、日本の主要な開発系製薬企業である大塚製薬株式会社(以下、「大塚製薬」)が、同社の開発した新しい抗結核薬である「デラマニド」(Delamanid)に関するシンポジウムを開催しました。エイズや関連する疾病(結核、C型肝炎など)のよりよい治療のための政策シンクタンク「トリートメント・アクション・グループ」は、世界の結核患者の治療への権利の確立に取り組む組織として、このシンポジウムを中断しました。そして、多剤耐性結核(MDR-TB)の治療のために、この新薬「デラマニド」を広範囲にわたって登録し、今すぐ、幅広く人道的な使用に供するように要求しました。

私たちは、「デラマニド」がこの地球上でごくわずかな人たちにしか入手されていないという事実と、大塚製薬が現在計画している、自社開発のスポーツ飲料「ポカリ・スエット」を月面に打ち上げる計画とを対比し、注意を促しました。大塚製薬は「ルナ・ドリーム・カプセル・プロジェクト」と銘打ち、民間企業初の月面到達プロジェクトとして、スポーツドリンク「ポカリ・スエット」の粉末で満たされた容器を2015年に月面に打ち上げる計画を立てています<sup>3</sup>。私たちは、大塚製薬が多額の資金を使って派手な宇宙宣伝活動をしている裏で、地球上での救命薬となり得る薬品の提供を怠っている事実を示し、デラマニドがより広域に供給されるように訴えかけました。

多剤耐性結核(MDR-TB)は毎年、50万人にも及ぶ人々を襲います。しかし、多剤耐性結核治療にかかることのできる患者はそのわずか5分の1にすぎず、さらに、完治するのはその半分にすぎません。デラマニドは、ヨーロッパと日本の医薬品許認可機関により2014年頭に許可され、多剤耐性結核治療に新たな望みを与えました。しかしそれ以来、大塚製薬はごく少数のMDR-TB患者にしかデラマニドの供給を許可していません。その上、大塚製薬は欧州と日本以外で同薬を登録していませんが、多剤耐性結核患者の中でこれらの地域に住んでいる人々の割合は非常に少ないのです。大塚製薬による、この薬の人道的な使用プログラムは根本的に崩壊しています。

<sup>1</sup> The 45<sup>th</sup> Union World Conference on Lung Health (<http://barcelona.worldlunghealth.org/>)

<sup>2</sup> International Union against Tuberculosis and Lung Disease (<http://www.theunion.org/>)

<sup>3</sup> "Lunar Dream Capsure Project" [http://www.otsuka.co.jp/company/release/2014/0515\\_01.html](http://www.otsuka.co.jp/company/release/2014/0515_01.html)

私たち「トリートメント・アクション・グループ」の事務局長マーク・ハリントンは、会議上で次のように発言しました。「大塚製薬は、結核治療薬の研究開発において重要な民間出資者です。しかし、デラマニドがそれを必要とする人々の手に渡らないのならば、その投資は最終的に意味がありません」。「大塚製薬は、至急デラマニドが幅広く利用できるように各国で登録を行うべきです。特に途上国 - この薬が(日本や欧州のような)豊かな国々で承認され活用されるために、治験が行なわれた国々にです。困っている患者の手に薬が渡るのを許可することこそ、この薬の人道的な使用法ではないでしょうか。」

実際、大塚製薬は、米国カリフォルニア州で多剤耐性結核の治療に取り組む医師、ケイトリン・リード博士(Dr. Caitlin Reed)が、多剤耐性結核の患者であるゲイリー氏に対してデラマニドを投与しようと試みた際、これを拒否しました。ゲイリー氏は、米国国内でこれまでに確認された結核患者の中で最も高い薬剤耐性を持っています。リード博士は「大塚製薬が、デラマニドの登録に関して行っている不合理な規制は、新薬を緊急に必要とする彼のような患者にとって深刻な問題です」と説明します。「ゲイリーさんは、デラマニド無しの2年間の治療プログラムを半分もこなさないうちに、聴力損失と神経損傷に苦しんでいます。身体の中毒性と、このままの不十分な療法では、彼の結核完治は無理かもしれません。」

私達が、大塚製薬のシンポジウムを中断した際、ゲイリー氏の姉妹であるステファニーさんも壇上に立ち、大塚製薬の方針がいかに患者と家族に悪影響を与えているか証言しました。「私の兄弟を助けることができる薬の存在を知っていながら、それを入手することが出来ないというのは、悲痛な気持ちです」そして彼女はこう訴えかけました。「大塚製薬さん、お願いですから新しい治療を乞い求めている私の兄弟や、同じように苦しんでいる方々にデラマニドを供給してください」

# # #

トリートメント・アクション・グループ (TAG) は、エイズのより良い治療、ワクチンの開発、そして完治に向けて取り組む、独立したエイズ研究および政策のためのシンクタンクです。TAG は、すべての HIV 陽性者が、生命を救うための治療とケア、そして必要な情報を確実に入手できるように活動しています。私たちは、科学に基づいたエイズ治療を求める活動家として、なくてはならない研究の拡大とスピードアップ、また、各種の研究・政策機関と HIV 陽性者などのコミュニティとの効果的な連携のために働いています。TAG は、エイズの影響を受けるすべてのコミュニティ、科学者、そして政策立案者による、エイズを終わらせるための公開された共同の行動の触媒として機能しています。